



Est. 1912

# よこ館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



## 「適材適所」

それほど髭が濃い方ではないが、朝・夕二度剃る。この髭剃りにはもう10年くらい前から、昔ながらの一枚の両刃剃刀を使っている。床屋で髭をあたってもらうのに似た「ジョリジョリ」という感覚と深剃りが病みつきになる。少しひりつく肌にローションを叩き込む瞬間、ジュリーウォレスの「男の世界(マンダム・オブ・ザ・ワールド)」のメロディーが耳の奥から甦る。「あーっ爽快」

この両刃剃刀だが良く剃れる分、手の調子や肌の具合によってはあっさり皮膚を切り、鏡には「ハロウィン」さながらの血まみれ顔を晒すことになる。とりわけ朝忙しいときにやらかしては、絆創膏顔での出勤となる。

そこでここ数カ月、朝には宿屋でもらう、使い捨て剃刀を使うことにした。そもそも切れ味が鈍く「安全」なつくりなので、起き抜けのおぼつかない手技にも出血することはまずない。その分少し時間を要するものの、出血の始末をすることを思えば、はるかにましである。

そういえば、電線の被覆を剥くことが多い電気さんのナイフは切れ味が「鈍い」と聞いたことがある。良すぎると被覆のみならず芯まで切ってしまうからだそうだ。少々切れ味の鈍い剃刀も、朝の髭剃りには「持って来い」なのである。果たして、これを「適材適所」というのかどうか？

( 高齢事業本部 本部長 旭 博之 )

### 本部事務局だより

円安の恩恵か、半導体受託生産の世界最大手、台湾積体回路製造(TSMC)が熊本県菊陽町で新工場の建設を進めている。地元では鉄道や道路、住宅などのインフラ整備が急ピッチで進められ、TSMC バブルと言われる好景気に沸いている。特に工場稼働に向けて新規採用する人数は実に1200人規模であり、契約社員の時給ですら1,500円以上と896円の最低賃金をはるかに超えている。この水準は関連企業や地域の商店・飲食店の従業員の人材を含めると熊本のみならず九州全体の人材受給に大きな影響を与えることになるだろう。

また、同社の進出にあたり台湾から従業員の家族を含め750人が来日する為、受け入れ物件が不足しており、街は、新築マンションの建設ラッシュとなっている。この為、名産のにんじん畑は、マンション用地の獲得競争にさらされ、地価は工場建設前、1坪10万円程度だった土地価格は40万円程度と、数年でおよそ4倍にはね上がったという。

かつて、日本の製造業は、安い人件費や安い工場建設費を求めて海外に出て行ったが、近年は、海外の賃金の上昇や、米中貿易摩擦の拡大と現地工場が実質的に人質状態となるリスクもあり、生産の安全保障の観点から国内回帰する製造業が増えており、政府もそれを後押ししている。この為、国内では工場用地の確保と人材の確保が急務となっているが、熊本例が日本経済の起爆剤になることを期待したい。(法人事務局長 野島忠幸)

## 児童事業本部

至誠こどもセンター事業の1つである「発達支援事業 くるみ」を開始して1年経ちました。市内の発達支援事業所がどこも入所待ち状態と立川市からもお聞きしていたので、事業所ではありませんが、すぐに定員がうまるのではと楽観的な見通しをしていましたが、当初はなかなか利用者が増えませんでした。改めて発達支援事業所の方のお話を伺うと、新規参入で立ち上げた事業所は、利用者に知ってもらい、利用に至るには1年はかかるとのことでした。まずは知ってもらうために、SNSを立ち上げ、健康会館や子ども家庭支援センターの担当者に利用者紹介のお願いに回りました。さらに、子育てサロンに通ってくださる親子をくるみに案内するなど循環もうまれてきました。現在は13組の地域の親子と4人の大地の家の子どもが利用しています。これからも発達が気になる親子を支える事業として発展させていきます。



「くるみちゃん」…至誠大地の家のお子様デザイン

(至誠こどもセンター所長 島田美喜)

## 保育事業本部

毎年、保育園の新入園児が決定するのは年明け2月頃ですが私たち代々木至誠こども園は「こども園」ですので幼稚園利用として入園してくる子どもたちの応募が一足早く10月にあり、説明会、面接、選考を経て決定していきます。その面接の際、お子さんにつけた名前への想いを伺っています。

近年、難しい読み方をする名前も増えてきましたが、意外にも名前に込める想いはシンプルで、「楽しい人生を送ってほしい」「元気に育ててほしい」などが多いように感じます。中でも今回伺った方の中に「花」が付くお子さんがいました。「一輪で可憐に咲く“はな”よりも群衆で皆の中で、と思ったので“華”ではなく“花”に」とのこと。私の横で面接に耳を傾けつつ遊んでいるその子ども越しに見える保護者が、悩みながらもそんな願いを込めて決めた在りし日を想像し、ツンと来て溢れるものを押さえるのに苦労しました。



私自身につけられた名前にも親の想いを感じ、「名前」をいとおしく感じ、当たり前と呼んでいる、呼ばれる名前に想いをはせる場に立ち会うことが出来るこの仕事は素敵だな、と思う瞬間でした。

「大切なお子さんを大切にお預かりします」という言葉を添えて選考を行っています。

(代々木至誠こども園 園長 稲永 裕子)

## 高齢事業本部至誠ホーム

昨年の秋の事です。至誠和光ホームの東側にある物置の下から動物が出てきました。昼間の時間帯に、人を見ても逃げもせず施設の東側と南側の庭を行ったり来たりしているそれは、なんと野生の狸でした。

よく見れば毛が一部抜け、痩せ細り、弱っているようにも見えました。野生動物ということもあり、施設入居者には見かけても近付かないよう注意喚起しました。

その後数日間、施設周辺で見かけたでしょうか。洗濯場で日向ぼっこをし、入居者が洗濯できないといったこともありましたが、大人しい狸に癒されたのか情が移ったのか、普段は洗濯時間や順番等些細な事でも衝突する入居者達が、皆さん穏やかな眼差しで見守り、移動するまで待っていてくれたのを覚えています。

今年も秋になり、落ち葉の多い季節がやって来ました。あの珍客は今どこで何をしているのか、話題にしながら入居者皆さんと施設周辺の落ち葉掃きを始めています。



(至誠和光ホーム 園長 中川謙夫)

(編集後記)暑い夏が終わり、保育園や学園のお庭で外で遊ぶ子供たちの声、根川にはお散歩する高齢の方をお見掛けします。今年の夏は暑すぎました。よく乗り越えた!と自分にも皆さんにも拍手👏